

# 河川基金助成事業

## 「善福寺川とのかかわりから環境を考える」 報告書

助成番号：2022 - 7212 - 025

東京都杉並区立井荻小学校

校長 田中 裕次

2022 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える		東京都杉並区立井荻小学校			
所在地	対象河川名	東京都杉並区善福寺 1-1 0-1 9	荒川水系善福寺川 (遅野井川)			
対象学年	主たる教科	第3学年(71人)	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	汚くて臭いように見える善福寺川にも生き物が棲んでいること、生き物は今と昔では変わってきていること、水質と関係していることを理解する。					
育成したい資質・能力	<u>生き物と積極的にかかわる</u> ことで、 <u>自然の豊かさと大切さに気付く力</u>					
学習活動の内容と成果						
<p>① ヤゴ救出大作戦 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前授業 テーマ「プールの中でくらす生き物」…ヤゴの生態について専門家の話を聞く。</li> <li>ヤゴを救出後、トンボに羽化するまでにどのように世話をしていくかを話し合う。</li> <li>学校図書を用いて、プールの中にすむ生き物について調べる。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なヤゴの種類がいることを知る。救出することの意味を考えることができた。</li> <li>プールの中にはどんな生き物がくらすしているのか知るとともに、身の回りでくらす生き物に目を向ける。</li> </ul> <p>① 遅野井川の環境調査 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遅野井川にいる生き物探し。</li> <li>遅野井川の全体の見学と水質検査。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川にすんでいる生き物探しから、<u>多様な生き物の特徴を学ぶ</u>とともに、<u>川の水質を知る</u>ことができるということに気付くことができた。</li> </ul>						
学びの創意工夫点	低学年までの生活科では、学校の敷地内や近隣の施設(井荻公園や東京女子大学等)を活用し、それぞれどのような生き物がすんでいるのか学習している。水辺にすむ生き物と比較することで自分の身の回りの生き物について関連付けながら学ぶことができるようにする。体育の水泳で使用しているプールも、生き物にとっては <u>生命をつなぐ場所の一つ</u> になっているということを知り、季節の循環とともに生命が育まれていることを身近な環境から学ぶ。					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	活動を通して、善福寺川に興味をもつことができた。普段から行き慣れている場所であり、興味や関心もち、積極的に活動していた。また、虫が苦手な児童も、活動の中で少しずつ慣れ、何と言う名前なのか調べる姿が見られた。					
支援者等(複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関(博物館、資料館)等		関係団体(漁協、農協)等		企業	その他
支援の概要	生き物の生態について詳しい専門家の方をお呼びして、まずは環境調査をする上での心得を知り、その後実際に川に入って調査し、遅野井川にすむ生き物について教えていただいた。また、学校支援本部や地域の方にも支援していただきながら、プールに入っのヤゴ救出大作戦を実施することができた。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	善福寺川ノートへの記録と振り返り 来年の3年生も活動を引き継げるようヤゴいかだづくり			絵日記や学級新聞 生き物調査結果をまとめ校内に掲示 広報やホームページでの発信		
今後の課題・展開						
プールから救ったヤゴは全て羽化できるわけではない。少しでも多くのヤゴが羽化できるようどのように環境を整えていくべきか、また、敷地内を流れる善福寺川、プール、ビオトープの池、この3つの水辺を含めて、それぞれの環境にすむ生き物が今後どのように共存していくとお互いがよい循環が生まれていくのかも考えさせていきたい。						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

河川教育学習活動報告書 【複数学年】











(NO. 1)

1.助成事業名	善福寺川とのかかわりから環境を考える		学校名	東京都杉並区立井荻小学校		助成番号	2022-7212- 025				
2.河川教育の目標	地域の人々や自分たちの思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって実行する										
3.育成したい資質・能力	自分の身近にあるプールや川に、どのような生き物がいるのか興味や関心をもって考える。										
4.単元構想	3学年 71人 《テーマ》										
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
単元目標	ヤゴ救出大作戦			遅野井川の環境調査				野鳥観察会			
	よりよい環境を守るために、自分ができることは何かを考え実践できるようにする。			遅野井川の全体を見学したり、環境調査をしたりしながら、川にいる生き物を探す。				生態系を考える手段の一つとして、野鳥観察を行う方法を学ぶ。			
	関連教科：総合的な学習の時間 8時間			関連教科：総合的な学習の時間 5時間				関連教科：理科（季節の生き物） 1時間			
主な学習活動	プールの生き物調べ 学校の図書館を用いて、どんな生き物がいるのかしらべる。	図書館の本を用いて様々な種類のヤゴがいることを知る。また、興味のあるヤゴについて、まとめる。  	実際に、プールの中に入り、どんな生き物がいるのか調べる。ヤゴだけではなく、様々な生き物がいることを知る。 	遅野井川の全体を見て回りながら、どのような作りになっているのか確認する。 	川の水質検査と生き物調べ湧水を体験する。検査の方法を見て学び、記録用紙に記録をする。 	実際に川に入り、生き物調べを行う。網を使って、色々な生き物を取る。 	校内野鳥観察会を行い、野鳥ノート・双眼鏡の使い方を学ぶ。				
	評価の観点	プールにいる生き物について、関心をもって調べようとしている。	ヤゴには様々な種類がいることを知り、それらについて調べようとしている。	プールで生きている生き物について、実際に目で見、触れてみようとしている。	遅野井川について興味や関心をもって話を聞こうとしている。	検査をしている様子を見て、自分にどんなことができるのか考えようとしている。	道具を使って、様々な生き物を調べようとしている。	野鳥ノートや双眼鏡の使い方について理解を深めている。			

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載

1.助成事業名	善福寺川とのかかわりから環境を考える	学校名	東京都杉並区立井荻小学校	助成番号	2022-7212- 025
---------	--------------------	-----	--------------	------	----------------

5.実際に行った単元構成  
 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
	ヤゴ救出大作戦				遅野井川の環境調査				野鳥観察会					
	<p>身近な自然に触れ親しむことを通して、自分たちの住んでいる地域                  のよさに気づき、よりよい環境を守るために自分ができることをは何か考える。</p>				<p>遅野井川にいる生き物や環境調査を通して、環境を守るために自分で                  できることを考える。</p>				<p>生態系を考える手段の一つとして、野鳥観察を行う方法を                  学ぶ。</p>					
	<p>関連教科：総合的な学習の時間</p>				<p>関連教科：総合的な学習の時間</p>				<p>関連教科：理科（季節の生き物）</p>					
学習活動の結果	<p>校内における事前授業                  プールのヤゴについて                  知り、救出すること、そ                  の後どのように世話を                  していくか考える。</p>		<p>事前授業                  テーマ「プールの中でく                  らす生き物」                  学校のプールの中に住ん                  ている生き物について話を                  聞く。                  実際に本を使って興味                  のあるヤゴについて、調べ                  みる。</p>		<p>実際にプールの中で                  色々な生き物を探す                  体験を行う。                  プールの中に住んで                  いる生き物が、ヤゴだ                  けではないことに気付                  く。</p>		<p>遅野井川の全体を知                  るために歩きながら、                  色々な話を聞く。</p>		<p>遅野井川の水質検査を                  通して、今の川の様子を                  知る。</p>		<p>実際に川に入って、生                  き物調べを行う。                  どんな生き物がいる                  のか、全体を見ること                  によって現在の川の                  様子を知る。</p>		<p>校内で野鳥観察                  会を行うことで、                  野鳥観察への意                  欲・関心を深め、                  観察の方法を知                  ることができた。</p>	
	 		 		 		 		 					

6. 得られた成果	7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果
<p>自分たちの通っている井荻小学校の校庭に流れている善福寺川のことや、身近にある善福寺公園にある遅野井川など、興味や関心をもって積極的に活動に参加することができた。どんな生き物がいるかについて調べ、さらに考えや学びを深めることができた。</p>	<p>4年生からの発表をもとに、来年度自分たちが調べることになる川について自分事として考えることができた。発表を聞いた後に、調べたいことを友達同士で話し合っている姿も見られ、今後の学習に期待をもっている姿が見られた。</p>

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校



学習活動名：ヤゴ救出大作戦

日付：5月24日(火)

見られた子どもの姿

プールの底を網で掬うとたくさんのヤゴが発見できた。体型の特徴から、「体がかっちりして大きいヤンマが多い。」「イトトンボが少ない。」などと捕ったヤゴの種類をお互いに確認しながら活動していた。ヤゴ以外にもゲンゴロウやアメンボなどの水生昆虫がいることにも気付くことができた。



学習活動名：遅野井川について学ぶ

日付：7月1日(金)

見られた子どもの姿

遅野井川の成り立ちについて実際に見たり、体験したりすることによって、水がどこからどこへ流れているのか、どんな生き物が棲んでいるのか等、実際にどういう川なのかを学ぶことができた。



学習活動名：遅野井川の環境調査

日付：7月1日(金)

見られた子どもの姿

生き物を捕まえて、分類しながら観察する。川の中や周辺の自然を知り、感じることを大事にしながら活動することができた。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。  
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)  
 ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

助成事業の主な実施箇所



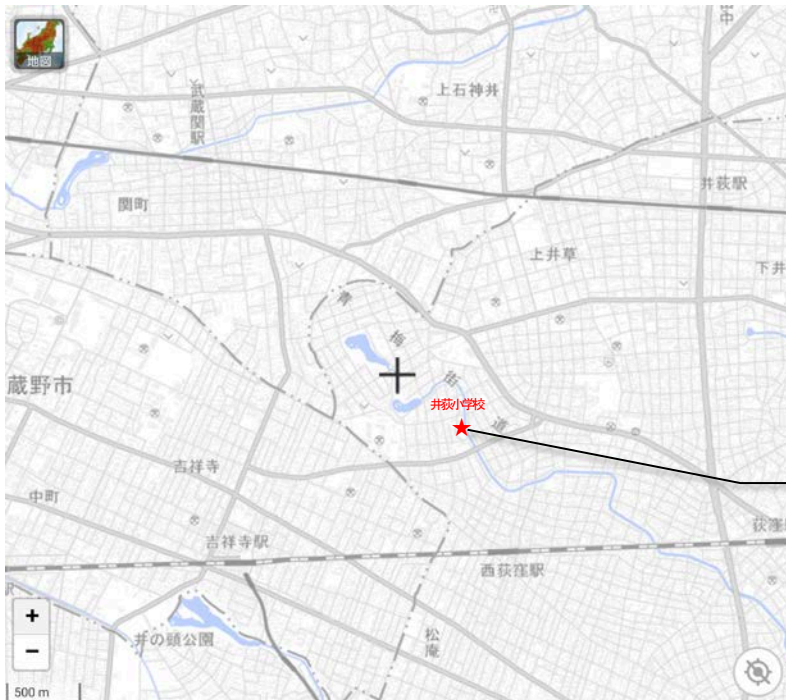
※Google map より参照

7月1日 (金)  
遅野井川調べ

**【遅野井川】**  
善福寺川の源流である善福寺池の上池と下池を結ぶ、かつての遅野井川を復活させようという動きで生まれた親水施設。

5月24日 (火)  
ヤゴ救出大作戦

**【井荻小学校のプール】**  
善福寺川が敷地内を流れている井荻小学校では、プールも含めた学校全体がビオトープと捉えて活動している。



※国土地理院より参照

**【善福寺川】**  
荒川水系神田川支流の一級河川。

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える		東京都杉並区立井荻小学校			
所在地	東京都杉並区善福寺 1-1 0-1 9	対象河川名	荒川水系善福寺川			
対象学年	第4学年(76人)	主たる教科	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	善福寺川にかかわる様々な問題に気づき、自ら調べまとめることで、自然環境や社会環境についての理解を深める。					
育成したい資質・能力	善福寺川にかかわる様々な問題に <u>気づき</u> 、 <u>自ら調べまとめる力</u>					
学習活動の内容と成果						
<p>善福寺川についての学習 (内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>善福寺川のすきなところ、きれいなところについて発表しあい、関心を高める。</li> <li>善福寺川に実際に入り、川の特徴について体験を通して学ぶ。</li> <li>自ら課題を設定し、追求し、まとめ、発表する。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体験を通して学ぶことで、一人ひとりが自分ごとにする事ができた。</li> <li>善福寺川の構造や水の行方、生き物や水質、歴史について、調べたいテーマを決め、友達と意見交流しながらそれぞれの学びを深める事ができた。</li> <li>杉並区主催の環境サミットに参加して地域の人たちに自分たちの学んだことを発信したり、異学年交流の機会をつくり下学年にむけて自分たちが調べたことを伝えたりと、発表を通して自分たちの学習を再確認し、自己実現につなげることができた。</li> </ul>						
学びの創意工夫点	3年生までに学んだ身の回りの生き物について、川の環境とのかかわりを通して再分類しながら、在来種と外来種が共存している実態を知る。 社会科の学習「暮らしを支える水」「下水のしくみ」等を横断的に学ぶことで、上水・下水という視点で水のしくみを捉え、善福寺川の学習につなげる。					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	敷地内を流れる善福寺川について、いろいろな視点で捉え直すことによって、善福寺川に対して興味・関心をもつ児童が増えた。					
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (下水道協会)		企業	その他
支援の概要	区の土木課に申請し、実際に善福寺川に入り、専門家や学校支援本部の協力を得ながら実態調査をすることができた。善福寺川についてまとめた内容を、専門家の方に聞いていただき指導・助言をいただいた。水道キャラバン・下水道協会による下水のしくみの授業等、他の活動団体による教育活動も横断的に関連づけることで学習内容を深めることができた。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	善福寺川ノートへの記録と振り返り タブレット端末を活用 (ロイロノート) して学習のまとめ			3学年に向けて学習した内容を発表 杉並区環境サミットに参加して地域に発信 広報やホームページでの発信		
今後の課題・展開						
<p>課題探求活動は、テーマを広げ過ぎると内容も薄くなったり、川との関連性が低くなっていくこともある。目的が何かをもう一度確認して学習に取り組むべきである。また、自主的な調べ活動は促進していきたいが、誤学習に気付きかせる手立ても打つ必要がある。特に校内や地域に発信する前には特に気を付けたい。教員だけでは、チェックしきれないので今回のように専門家の指導・助言をいただけるとよい。今後、災害関連のデータや写真を活用し、社会科との横断学習を大事しながら、<u>防災の視点</u>でも川について考えられるようにしていきたい。</p>						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

河川教育学習活動報告書 【複数学年】

(NO. 1)

1.助成事業名	善福寺川とのかかわりから環境を考える		学校名	東京都杉並区立井荻小学校		助成番号	2022-7211- 025									
2.河川教育の目標	善福寺川にかかわる様々な問題に気付き、自ら調べまとめることで、自然環境や社会環境について理解を深める。															
3.育成したい資質・能力	善福寺川にかかわる様々な問題に気付き、自ら調べまとめる力															
4.単元構想	4 学年 79人 《テーマ》															
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2					
単元目標	野鳥観察会 善福寺川活動			善福寺川について調べよう・まとめよう				善福寺川について調べたことを伝えよう								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野鳥観察会</li> <li>・善福寺川に入って、課題を見つけよう。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・善福寺川について調べる。</li> <li>・善福寺川について調べたことをまとめる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・善福寺川について調べたことを伝える。</li> </ul>								
	関連教科：社会「水はどこから」「ごみの処理と利用」 13時間			関連教科：社会「水害からくらしを守る」理科「雨水のゆくえ」 22時間				関連教科： 4時間								
主な学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで分担しながら野鳥のいる場所、食性なども意識しながら野鳥を観察する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・善福寺川について、すきなところや、きらいなところを出し合ったり、川に入って体験したりすることで、善福寺川についての興味・関心を高める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・知りたいことや疑問に思ったことをドーナツシートにまとめ、自分の課題を見つけていく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の課題について、専門家に聞いた見たり、資料を読み取ったりしながら、調べまとめる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったこと、考えたことを整理する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことを画用紙やタブレットを使って表現する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学びや思いをわかりやすく伝える工夫をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べて分かったことを伝える。</li> </ul>	
	評価の観点	野鳥の種類や数、生息場所をグループで分担して探することができる。		善福寺川について、多面的に捉えることができる。		自分の追求課題を設定することができる。		グループで協力して、善福寺川について調べることができる。		わかったこと、考えたことを整理することができる。		伝えたいことを表現できる。		思いや学びをわかりやすく伝える工夫ができる。		区内の人々や下級生に調べてきたことを伝えることができる。

※申請時に作成したものを基にした実施計画を記載



1.助成事業名	善福寺川とのかかわりから環境を考える	学校名	東京都杉並区立井荻小学校	助成番号	2022-7211- 025
---------	--------------------	-----	--------------	------	----------------

5.実際に行った単元構成  
 注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
学習活動の結果	<p style="text-align: center;"><b>野鳥観察会 善福寺川活動</b></p> <p>・野鳥観察会                      ・善福寺川に入って、課題を見つけよう。</p> <p>関連教科：社会「水はどこから」「ごみの処理と利用」      13時間</p>				<p style="text-align: center;"><b>善福寺川について調べよう・まとめよう</b></p> <p>・善福寺川について調べる。                      ・善福寺川について調べたことをまとめる。</p> <p>関連教科：社会「水害からくらしを守る」理科「雨水のゆくえ」      22時間</p>				<p style="text-align: center;"><b>善福寺川について調べたことを伝えよう</b></p> <p>・善福寺川について調べたことを伝える。</p> <p>関連教科：      4時間</p>			
	 <p>川に入ったり、意見を出し合ったりして、興味・関心を広げ、自分の追求課題を設定することができた。</p> <p>野鳥観察会では、グループで協力して観察を行い、記録をすることができた。</p>				 <p>体験や資料を使って追求活動をし、自分の課題について調べまとめることができた。</p> <p>下水道の出前授業を通して、下水道の役割、雨水の行方を知ることができた。</p>				 <p>下級生に調べてきたことを発表することで、自分の思いや考えを伝えることができた。また、友達の発表から、新たな疑問や調べたいことを見つけることができた。</p>			
	6. 得られた成果						7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果					
<p>身近に流れる善福寺川について改めて考え、課題を見つけることができた。調べたことを下級生に発表することでただ分かったことをまとめて終わるのではなく、分かりやすくするために簡単な言葉にしたり、質問に答えるために再度調べたり、深く学ぶことができた。</p>						<p>川のある学校として、善福寺川の良さや課題を見つけることができた。生き物や歴史、川の造りを学びより身近に善福寺川を考えることができた。</p>						

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校



学習活動名：善福寺川ワークショップ

日付：6月23日(木)

見られた子どもの姿

「善福寺川のすきなところときらいなところ」を掘り起こし、今までは橋の上から眺めるだけだった善福寺川の川の歴史や構造、棲んでいる生き物や自然環境など、今まで考えたことのない新たな視点で善福寺川をみつめるきっかけとなった。自分の調べたいテーマがぼんやりとみえてきた。



学習活動名：善福寺川調べ

日付：6月29日(水)

見られた子どもの姿

善福寺川に初めて降りて、興奮する様子。上から見る川の景色とは全然違って、より身近に川を感じることができていた。湧水のポイントを確認し、実際に手を入れてみると「わぁ、わき水って冷たい」という声があがっていた。川の護岸を歩きながら、下水溝の場所や数を確認したり、悪臭や汚れに着目したり、川底までの深さを測ったりと、実際に見て調べてわかったことを自分のノートにまとめた。



学習活動名：善福寺川調べ

日付：9月26日(月)

見られた子どもの姿

自分の調べたいテーマに合わせて、川の構造を確認したり水質や周辺環境を調査したり、川の生き物を観察したりと、それぞれの児童が活動目的をはっきりさせた状態で川の学習に取り組んでいた。その後、図書館で調べたり、専門家の方に直接質問したりと、探求を深めることができていた。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。  
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)  
 ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

助成事業の主な実施箇所



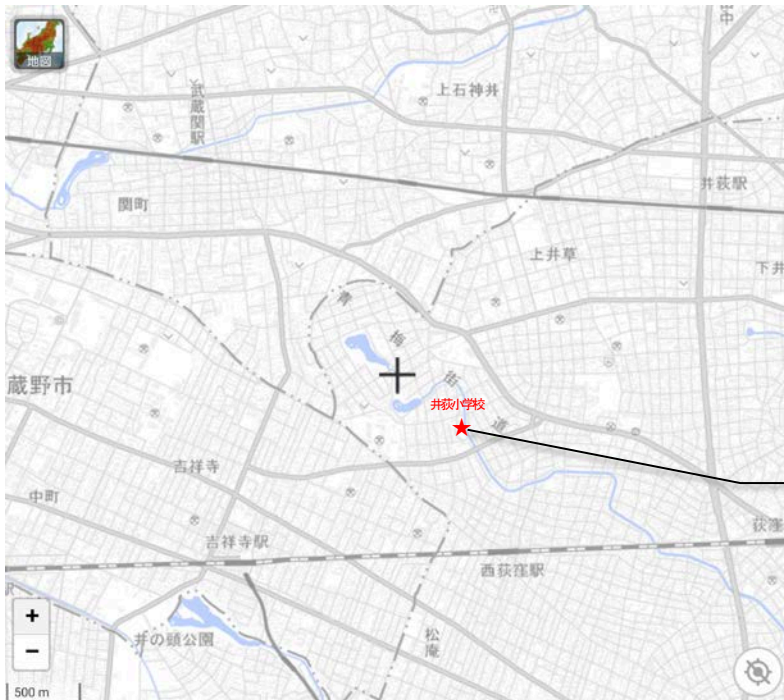
※Google map より参照

6月23日(木)【井荻小】  
善福寺川ワークショップ

川の専門家をお招きして、川の歴史や構造、川に棲む生物等、善福寺川の特徴について学ぶ。

6月29日(水)  
善福寺川調べ

土木課に申請を出して、実際に善福寺川に入り、体験し感じたことをもとに、善福寺川について自分がこれから探求していきたいことをみつける。



※国土地理院より参照

【善福寺川】

荒川水系神田川支流の一級河川。

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える		東京都杉並区立井荻小学校			
所在地	東京都杉並区善福寺 1-1 0-1 9	対象河川名	荒川水系善福寺川 多摩川水系野川			
対象学年	第5学年(63人)	主たる教科	総合的な学習の時間			
河川教育の目標	雨水問題に着目したり、里川に戻った野川を体験することで、比較対比しながら善福寺川の環境について考えを深める。					
育成したい資質・能力	善福寺川の流域問題や水循環について考え、深める力					
学習活動の内容と成果						
<p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>善福寺川の水質調べ COD や pH 測定。</li> <li>里川にかえった野川を体験的に学ぶことで、善福寺川と比較して考える。</li> <li>善福寺川の流域に降る雨について知り、よりよい水環境のための工夫を考える。</li> <li>雨水の浸透実験をし、すでに行われている雨水を地面にしみ込ませる工夫について調べる。</li> <li>雨水についてわかったことをまとめる。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の学びや思いをまとめることができた。</li> <li>杉並区主催の環境サミットに参加して地域の人たちに自分たちの学んだことを発信したり、異学年交流の機会をつくり下学年にむけて自分たちが調べたことを伝えたりと、発表を通して自分たちの学習を再確認し、自己実現につなげることができた。</li> <li>人間はくらしの中で自然環境を壊して生きているが、それを守るのも人間であることを学んだ。</li> </ul>						
学びの創意工夫点	里川に戻った野川を体験したり、理科の授業や専門家の話を結び付けて、善福寺川の水循環の在り方を考えさせる。					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	善福寺川と野川の構造や水質、生き物を比較したり、雨水の行方を考えることにより、今後、善福寺川がどのように変わっていけばよいか考えることができた。					
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援の概要	区の土木課に申請し、実際に善福寺川に入り、専門家や学校支援本部の協力を得ながら実態調査をすることができた。専門家をお願いして野川を案内していただいたり、雨水のゆくえについて話していただくことで、構造や水質などについて深く追及することができた。善福寺川と野川についてまとめた内容を、専門家の方に聞いていただき指導・助言をいただいた。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	善福寺川ノートへの記録と振り返り タブレット端末を活用 (ロイロノート) して学習のまとめ			4 学年に向けて学習した内容を発表 杉並区環境サミットに参加して地域に発信 広報やホームページでの発信		
今後の課題・展開						
善福寺川調査・野川調査・浸透実験を通じた雨水の学習等、多くの活動を取り入れたので、善福寺川の課題を違った視点で捉え追求し深めることができた。しかし、活動が一年に渡るため、一つ一つの活動ごとの学びを振り返り記録をしていくことが重要であると気付いた。また、専門家の指導・助言が欠かせないので、指導・助言も含めた年間計画が重要となる。						

・ キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい

河川教育学習活動報告書 【複数学年】

(NO. 1)

1.助成事業名		善福寺川とのかかわりから環境を考える			学校名		杉並区立井荻小学校		助成番号		2022-7211- 025	
2.河川教育の目標		雨水問題に着目したり里川に戻った野川を体験したりすることで比較対比しながら善福寺川の環境について考えを深める。										
3.育成したい資質・能力		善福寺川の流域問題や水循環について考え、深める力										
4.単元構想		5学年 63人 《テーマ》善福寺川とのかかわりから環境を考える										
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	
単元目標	善福寺川の水質・生き物調べ				野川体験 流域に降る雨・浸透実験				善福寺川・野川についてのまとめ・発表			
	善福寺川について4年生までの学びを振り返り、善福寺川の水質検査や生き物調べをする。				里川に戻った野川を体験して比較対比したり、雨水についての学習を深めたりすることで、善福寺川についての考えを深める。				善福寺川・野川のことについて調べたことを伝える。			
	関連教科：社会（米作りの盛んな地域） 5時間				関連教科：理科（流れる水の働きと土地の変化） 10時間				関連教科：社会（環境を守る私たち） 13時間			
主な学習活動	人々の生活が、自然や人々の努力によって成り立っていることを理解する。		水質検査の仕方を知り、善福寺川の実態を理解する。		野川を体験し、生き物や水質、構造などについて、善福寺川と比較・検討し、里川に戻すための工夫について考える。		善福寺川の流域について知り、昔と今では雨水のゆくえに大きな違いがあること、自然豊かな川を守るためには、雨水を一気に流さない工夫が必要なことを理解する。		雨水の浸透実験をし、地面の状態によってしみ込み方に違いがあることを知り、すでに行われている雨水を地面にしみこませる工夫について調べる。		調べたことをまとめ、整理し、下級生や地域の人々にむけて発表する。	
	私たちは人間は、くらしの中で自然環境を壊してきているが、それを守ることも人間であることを学ぶ。											
評価の観点	人々の生活が、自然や人々の努力によって成り立っていることを理解したか。		水質検査の仕方を知り、善福寺川の実態を理解しているか。		野川と比較しながら善福寺川についての理解を深めたか。		雨水を有効活用する大切さに気づき、方法について考えることができた。		地面の様子によって雨水のゆくえが違うことに気づき、雨水が湧水になる大切さについて理解することができた。		自分の学びや思いを、適切な言葉で分かりやすくまとめ、説明することができたか。	
	自分の生き方を振り返り、これからの自分の生き方につなげて考えることができたか。											

1.助成事業名	善福寺川とのかかわりから環境を考える	学校名	杉並区立井荻小学校	助成番号	2022-7211- 025
---------	--------------------	-----	-----------	------	----------------

5.実際に行った単元構成

注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2						
	善福寺川の水質・生き物調べ			野川体験 流域に降る雨・浸透実験				善福寺川・野川についてのまとめ・発表									
	善福寺川について4年生までの学びを振り返り、善福寺川の水質検査や生き物調べをする。			里川に戻った野川を体験して比較対比したり、雨水についての学習を深めたりすることで、善福寺川についての考えを深める。				善福寺川・野川のことについて調べたことをまとめ、伝える。									
	関連教科：社会（米作りの盛んな地域） 5時間			関連教科：理科（流れる水の働きと土地の変化） 10時間				関連教科：社会（環境を守る私たち） 13時間									
学習活動の結果	<p>自ら稲を育てたり、農業について学ぶことで、人々の生活と自然とのかかわりについて気付くことができた。</p> 			  <p>水質検査や指標生物を調べることで、善福寺川の汚れ具合について知ることができた。</p>				  <p>野川で水質・生き物調査を行うことで、構造・水質など、善福寺川との違いに気付くことができた。</p>		  <p>講師から流域に振った雨についての話を聞き、雨水をどう利用したらよいか、具体的な案を出し合うことができた。</p>		  <p>浸透実験を通して、水の土へのしみこみ方の違いを確認した。</p>		 <p>学習してきたことをまとめる活動を通して、自分の学びや考えを整理し、下級生や地域の人々に思いを伝えることができた。</p>		<p>社会科の学習を通し、善福寺川の問題を自分の生き方としてとらえることができた。</p>	

6. 得られた成果

水質検査をしたり、指標生物を使った生き物調べをしたりすることを通して、4年生までに学んできたことを土台に、より詳しく善福寺川の現状について知ることができた。

雨水の利用や浸透実験を通して、善福寺川の周りの環境と湧水の大切さについて知り、改善するべき点について考えることができた。

7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果

善福寺川の問題を野川と比較したり、雨水の問題としてとらえ直すことで、水循環の在り方について考えを深め取り組むことができた。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校



学習活動名：善福寺川調査

日付：9月9日(火)

見られた子どもの姿

善福寺川に入り、網で救った川の中の生物をトレイに入れて観察し、自分たちでみつけた指標生物から川の汚れ具合の予想することができた。また、専門家の方の指導を受けながら、COD や pH 等のパックテストを自分たちで実施し、実際の川の汚濁状況について確かめることができた。その他、水の流れ方や水温の違い等の調査を通して今の善福寺川の状態を把握することができた。



学習活動名：雨水の浸透実験

日付：9月22日(木)

見られた子どもの姿

雨水のゆくえの学習をした後、近隣にある井荻公園を会場に、水の浸透実験を行った。硬くなった地面とふかふかの地面では、水の浸透に大きな違いがあることがわかった。



学習活動名：

日付：9月27日(火)

見られた子どもの姿

野川の河川敷に着くと「わあ、きれい」「早く入ってみたい」など自然と感想の声があがる。また、川周辺の景色をみても、3面張りの都市河川とは違うということを感じていた。同じ合流式下水道のしくみがあるのに、なぜ野川はきれいなのだろう、という疑問をもち、調査する。実際に野川に入って指標生物を採集して、汚れ具合を確認。善福寺川との違いが明確になった。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。  
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)  
 ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

助成事業の主な実施箇所



9月9日(金)  
 善福寺川にて水質調査

善福寺川に入り、水の流れ方や水温の違い、湧水ポイント等を観察。また、指標生物や水質検査 COD・pH を取り入れて、善福寺川の汚濁状況について調査する。



※国土地理院より参照

9月22日(木)  
 井荻公園にて雨水の浸透実験

かつては善福寺川にも地面に浸透した雨水が湧いて豊富な水量を保っていた。それがなぜ少なくなってしまったのか、近隣の公園で浸透実験を行い、原因を探る。

※国土地理院より参照



※Google map より参照

9月27日(火)  
 野川の学習

野川に実際に入り、水の流れ水量の違い、周辺環境について知る。指標生物や水質検査 COD・pH を取り入れて、善福寺川と比較調査する。  
**【野川】**  
 多摩川水系の一級河川。



助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える		東京都杉並区立井荻小学校			
所在地	東京都杉並区善福寺 1-1 0-1 9	対象河川名	荒川水系善福寺川			
対象学年	第6学年(82人)		主たる教科	総合的な学習の時間		
河川教育の目標	地域の人々や自分たちの思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、 <u>見通しをもって実行する。</u>					
育成したい資質・能力	善福寺川にかかわる学習での <u>気づきを深め、自分の考えを発信する力</u>					
学習活動の内容と成果						
<p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでに学んできた川の学習を振り返り、自分の考えを整理する。</li> <li>• 善福寺川に入り、清掃活動や水質調査をしながら、今の川の状態をこれまでの調査とも比較しながら確認する。</li> <li>• <u>一人ひとりの児童が理想の善福寺川のイメージをもつ中で、今の課題が何かを考える。</u></li> <li>• 理想の善福寺川を目指すための課題を学年全体で考える。 ⇒ごみが多い 外来生物が増えている 水質が悪い</li> <li>• 課題別に分かれて、自分たちに<u>今何ができるか</u>を話し合い、呼びかける。</li> </ul> <p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• それぞれが考えた対象に向けて、自分たちの考えを発信することができた。</li> <li>• 誰にでもできて<u>持続可能なこと</u>を考えて呼びかけることで、たくさんの人々の協力を得られ、善福寺川とのかかわりをもとにしながら、環境について考えることができた。</li> </ul>						
学びの創意工夫点	第3学年から第6学年までに善福寺川について学んだことを振り返り、これまでの体験を通して学んだことを生かしながら、善福寺川をそれぞれが考える <u>理想の川</u> にしていくために、児童自らができることを考えて実行する。					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	一人ひとりが善福寺川とのかかわりを改めて考えて課題をもち、学校全体、保護者、地域の人たちに、どの子も自分の思いを、様々な方法で提案することができるようになった。					
支援者等 (複数記入可)						
<u>保護者</u>	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	<u>専門家等</u>
<u>河川管理者</u>	<u>行政機関</u> (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	<u>その他</u>
支援の概要	区の土木課に申請し、学校支援本部の協力のもと善福寺川に入り清掃活動を行った。自分たちで課題をもち <u>行動する</u> 上で、専門家に指導・助言をいただいた。有志のみの参加となったが、行政主催の「水鳥の棲む水辺創出事業シンポジウム」や、様々な関係機関や企業が参加する全国下水道大会など、本校の取り組みを発表する機会をいただいた。今までの学習を振り返り、今できることをまとめ、保護者や地域、そして在校生にむけて発表し、 <u>みんなを巻き込んで行動</u> できるようサポートしていただいた。					
成果発表	成果作品			発表方法		
	善福寺川ノートへ各自これまで学んできたことをまとめた。 タブレット端末を活用 (ロイロノート) して学習のまとめを行った。			在校生や保護者、地域の人々に向けてタブレット端末を活用してプレゼンをした。 地域に向けて啓発ポスターを作成し善福寺川沿いに掲示した。		
今後の課題・展開						
安全に活動することを第一に考える。そのためには、川に入る際の事故防止のため、学校支援本部やサポーターとの連携をしっかりととり、学校側が指導、安全計画を確認していかなければならない。時期に応じて行う活動なので、つい目の前のことに追われて、計画的実施が難しくなり、余裕のない活動になることが課題となっている。活動する時間や年間の計画を見直し、川の学習がより充実するようにしていく。						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

河川教育学習活動報告書 【複数学年】

(NO. 1)

1.助成事業名		善福寺川とのかかわりから環境を考える				学校名		助成番号		2022-7212-				
2.河川教育の目標		地域の人々や自分たちの思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもって実行する												
3.育成したい資質・能力		善福寺川にかかわる学習での気づきを深め、自分の考えを発信する力												
4.単元構想		6 学年		8 2 人		《テーマ》善福寺川とのかかわりから環境を考える ～理想の善福寺川をめざして～								
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
単元目標	守ろうみんなの善福寺川			守ろうみんなの善福寺川				守ろうみんなの善福寺川						
	今まで活動し、学んだことをもとに、環境を守るために 自分たちができ ることを考える。			理想の善福寺川をめざして、課題をもち、解決する方法を考えて表現する。				川の学習を通して、人や生き物の生活は、自然とかがわって成り立っていることを理解する。						
	関連教科：社会（わたしたちの暮らし 政治）			8時間		関連教科：国語（定型文）		9時間		関連教科：理科（生態系）		14時間		
主な学習活動	今までの活動を振り返り、学んだことをもとに、川の学習のまとめをするイメージをもち、それぞれができることを考える。		善福寺川の清掃活動を行い、ごみの種類や量を分析し、自分たちの学びや思いをまとめる。		まとめたことをもとに、学級全体でどんなことができそうかを考えて、課題を出し合う。		全体での話し合いをもとにそれぞれが課題をもち、善福寺川を理想の川に近づけるために自分ができることを考える。		課題別に、専門家から話を伺い、自分にできることを実行するために活動を起こす。		野鳥の生態系を自分で観察して記録し、環境について考える。		生物と水、空気及び食べ物との関わりに着目して、人は環境と関わり工夫して生活していることについて学ぶ	自分たちの学びや思いを下級生や地域に伝える。
	これまでの学習を振り返り、自分たちにできそうなことを進んで考えることができる。		善福寺川の清掃活動から、川の様子やごみの種類などを分析して、整理することができる。		学習のまとめから、善福寺川を理想の川に近づけるための課題を見つけることができる。		自分たちの思いや地域の人々の願いをふまえて課題を設定することができる。		課題解決方法や手順を考えて、見通しをもって追究し、表現することができる。		鳥などの生き物と川とのつながりから、川と環境のかかわりについて考えることができる。		人や生き物の生活は、自然と深くかかわって理解することができる。	川や生き物のことなど身の回りの問題を自分事にして考え、自己を振り返ることができる。
評価の観点														

1.助成事業名	善福寺川とのかかわりから環境を考える	学校名	東京都杉並区立井荻小学校	助成番号	2022-7212-
---------	--------------------	-----	--------------	------	------------

5.実際にいった単元構成

注) 活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2													
	守ろうみんなの善福寺川			守ろうみんなの善福寺川			守ろうみんなの善福寺川																	
	<p>今まで活動し、学んだことをもとに、環境を守るために自分たちができることを考える。</p>			<p>理想の善福寺川をめざして、課題をもち、解決する方法を考えて表現する。</p>			<p>川の学習を通して、人や生き物の生活は、自然とかかわって成り立っていることを理解する。</p>																	
	<p>関連教科：社会（わたしたちの暮らし 政治）</p>			<p>8時間</p>			<p>関連教科：国語（定型文）</p>			<p>9時間</p>														
学習活動の結果	<p>3年生からの学習の振り返りでは、川の仕組み、生き物の様子、川の水質など、学んだことを細かく思い出して話し合うことができた。体験を通して知識が身に付いていることがわかり、進んで話し合うことができた。</p>			<p>善福寺川の清掃には、意欲的に取り組んだ。ごみの量や種類だけでなく川の水質、生き物の様子、川の植物などに着目して、学びを広げることができた。</p>			<p>清掃活動を通して、理想の善福寺川に近づくには何ができそうか、いろいろな視点から話し合うことができ、今後の見通しをもつこともできた。</p>			<p>理想の川に近づくために自分にできそうなこと、自分が取り組みたいことを考えて課題をもち、学習計画を立てることができた。</p>			<p>専門家からの話を聞き、具体的に何を伝えるか、どのような方法でまとめるかなど考え、一人一人が思いをもって課題解決に向けて活動することができた。</p>			<p>野鳥観察と川の学習をつなげて考え、川と自分たちの生活とのつながりを振り返ることができた。</p>			<p>理科での生態系の学習の観点から善福寺川の課題を振り返ることができ、思いを他者へ発信することができた。</p>			<p>善福寺川と生き物、自分たちの生活と環境のつながりを考えて活動を振り返り、自分の学びをまとめることができた。</p>		
	 																							

6. 得られた成果  
 3年生から学んできた知識と体験を生かし、理想の善福寺川に近づくために一人一人が自分事として学習に取り組むことができた。特別なことをするのではなく、持続可能な活動や学習として、自分の生活のつながりについて改めて考える機会となった。

7. 河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果  
 川のある学校として、川と共に自然と生活してきたが、地域から学び、大きくは地球環境・水循環の問題とつながっていることに気づき、自分たちが活動するだけでなく、周りの人々と協力して守ってこうとする態度が育った。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校



学習活動名：善福寺川の清掃活動

日付：5月30日(月)

見られた子どもの姿

善福寺川に降りて入ってみる、橋の上からは見えなかったたくさんのごみがあることにショックを受けていた様子。「なぜこんなものが」「いったいどこからきているのだろう」と疑問を抱えながら活動していました。活動後、どんな種類のごみがどのくらい落ちていたのかを分類し、川の現状を知るとともに、何が原因かをみんなで考えた。

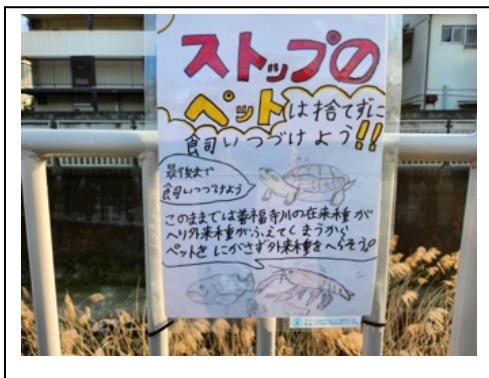


学習活動名：川の学習のまとめ

日付：1月28日(土) 3月13日(月)

見られた子どもの姿

善福寺川を今後どのような川にしていきたいか考え、「今、自分たちにできること」をテーマに話し合いメッセージを発信。学校公開の日には参観された保護者へむけて、またオンライン集会を利用して、代表者が全校児童にむけて発表した。1月28日(土)には地域の勤労福祉会館において地域の人々へむけて発表することができた。3月13日(月)には1年間お世話になった専門家の方をお招きして、学習の成果を発表し、その後指導・講評をいただいた。一人一人が、課題に対して真剣に向き合い、探求したことが自分の中に残ったような充実感を得ることができていた。



学習活動名：

日付：3月13日(月)～3月31日(金)

見られた子どもの姿

「川にポイ捨てをしない」「ごみの量を減らす」「油を流さない」「川に生き物を捨てない」など、自分たちの想いを地域に発信し、地域を巻き込んで環境改善に向けて共に考えていきたい、という声が子どもから挙がりポスターを作成。区の土木課に申請し川沿いの欄干に設置した。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7212-025	善福寺川とのかかわりから環境を考える	東京都杉並区立井荻小学校

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。  
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)  
 ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

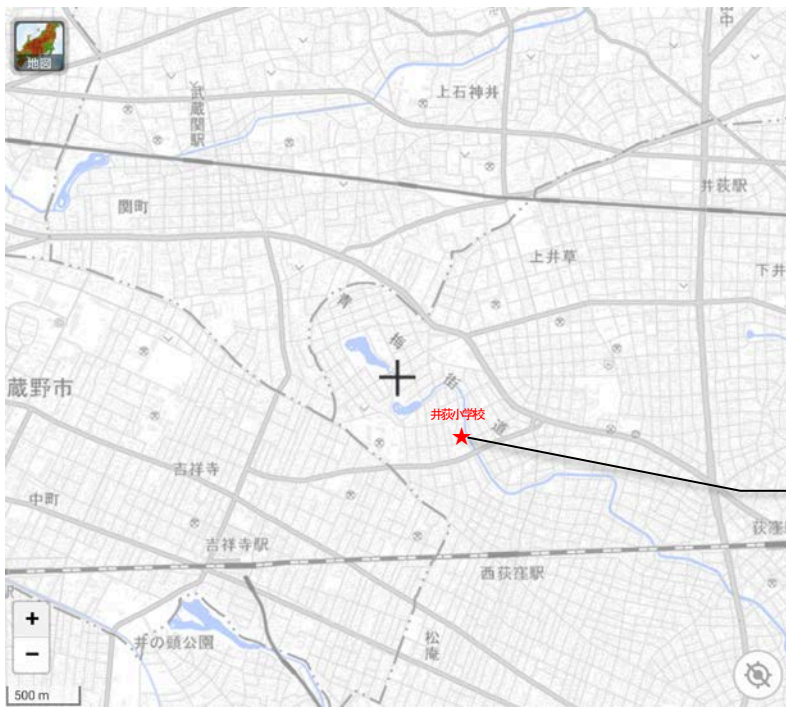
助成事業の主な実施箇所



※Google map より参照

5月30日(月)  
 善福寺川及び周辺の清掃活動

善福寺川の清掃活動を通して川の現状を知り、環境問題について自分たちにできることはないかを話し合い、今後の活動へとつなげる。



※国土地理院より参照

3月13日(月)

オンライン集会を開き、自分たちが学んできたことを校内に向け発表する。その後、地域へ自分たちの声を伝えるために制作したポスターを善福寺川沿いに掲示する。

**【善福寺川】**

荒川水系神田川支流の一级河川。